

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようにご注意ください。

事業所名	グループホーム ナンウェーブ
(ユニット名)	東
所在地 (県・市町村名)	岐阜県安八郡輪之内町南波字村西150-1
記入者名 (管理者)	渡邊 勇介
記入日	平成 20年 05月 31日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営			
お			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		理念自体に地域密着という内容は組み込まれてはいませんが、地域の保育園との交流や運動会への見学など、地域の皆様との触れ合う機会をつくる事によって地域とのつながりはできていると思う。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	今後は地域の小学生などとも交流する機会を増やしたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	自立の手助けと介助のしすぎは紙一重なので気をつけています。
4	家族や地域の方々には「とても助かります」や「いい所だねっ」と、お幸辞でもいわれています。	○	家族によりますが、面会の時やお便りによって「どんな取り組みを行っているか」は、把握してもらっていると思う。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	散歩に出かけた時に近所の方から「野菜や果物」を頂いたりするくらい溶け込んでいます。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	実際に職員が運動会に出場した事が無いから「走ったり」してみたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	施設近所にお友達がみえた利用者の方は、遊びにみえた時に、一緒に「レクリエーション」をされてみえました。	×	特別、施設外での「ボランティア」などには参加はしていないと思われる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価があるから「何か特別にプラスする」事はありませんが、実際に私にしてみれば、時間がかかるが自己評価をつけている。	○	決して「評価が必要で無い」とは言わないが、仕事が増えるのは事実であるので大変に感じるが、「改めて施設内の状態を見直す」事が出来るのも事実です。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はとても「地域密着」には役立っている内容になっているので「良い発表や意見交換」の場があります。	○	「とても良い」ですが、「2ヶ月に1回」行ってますので、「ものすごく頻度が多く」感じます。また「出席していただく方」にとっても「同じ気持ちではないか？」と思います。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月「空き部屋状況」などの報告をFAXで行い、定期的に雑談なども含め情報交換を行っています。	○	「連帯は細かくとれている」と思うが「サービスの質の向上に直接関連があるか」と考えてみると、具体的に難しくもいえません。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者レベルになると自然と耳にする機会に出会うが、介護職員は「まだまだ勉強できていない」のが現状です。	×	「たまにある勉強会」などには「なるべく出席できる」機会を持ち、参加して頂く。(強制はしてません)
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者レベルは「勉強会」にも参加している。施設の中でも虐待は今の所、確認はされていません。声掛けも含め防止に努めています。	○	虐待はありません。排泄介助時等にも言葉の虐待は聞いていない。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	十分に説明ができています。特に「生命や身体的な部分」については「お互いに納得できる」まで話している。	○	それぞれの話の担当があり「より分かりやすく説明できる仕組み」を取っています。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	「第三者委員会」を設けてしっかり環境は整っています。	○	「ご意見箱の設置」や「第三者委員」の連絡先の掲示等、行っています。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	お便り等を活用して報告をしています。面会に来られた時には「看護師」が直接、健康状態などの説明も行っています。	○	緊急時などは、必ず家族に報告して対応しています。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	「第三者委員会」を設けてしっかり環境は整っています。	○	「ご意見箱の設置」や「第三者委員」の連絡先の掲示等、行っています。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	連絡ノートなどを使用し意見や提案を書きいただき、良い事は前向きに取り組んでいます。	○	意見の方は色々出ていて、それに対する行動もできています。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	勤務の調整は毎月必ずありますが、家族の調整による要望というのは？	○	面会のお約束が遅い時間になり、その対応をする職員が勤務時間外であっても、その時間になるべく勤務しているようにしています。
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	なるべく退職をされる職員はいないように努力はしていますが、入ってすぐに退職される方はどうにもならない。利用者へのダメージはありません。	○	長期間、務めていただいている職員は大体、利用者、職員とも円満にお別れをされてみえる方ばかりだと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には積極的に参加していただける様になっています。	○	研修時の費用も施設側で負担している事が多いと思います。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	時々、交流は行っており、お互いの良い所を学んでいます。	○	問題は変な雑談の時があり、噂話に火はつく事もあります。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	勤務体制や業務内容はストレスにならない様に環境を整えています。	○	職員間での雑談によってストレスを感じる事にはまだ工夫が必要だと思います。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員は皆さん頑張っていると思うので、しっかりと評価はされています。		会社としては環境を整えているのですが、国全体がこんな状況ではどうかと？
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ケアマネージャーと職員がしっかりと話を聞いています。	○	個々の状態に合わせた対応が出来ていると思います
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ケアマネージャーが中心となり家族とコンタクトをとっています。	○	個々の家庭状態に合わせた対応が出来ていると思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネや看護師が素晴らしい支援内容をまとめてくれ	○	医療面が強い利用者様でもなるべく対応できています。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	状態に応じて、短期利用から入居された方もおみえになられています。	○	利用者が中心のハズですが、入居の際は現実問題、家族が中心となりかかっているのが現状だと思います。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様、一人一人に対して、しかりと人間味のある介護が出来ていると思います。	○	しかし、少し踏み外すと「なあなあ」になってしまっている事があるの言葉使いには気お付けています。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	積極的に面会に来ていただける家族の方とは良い関係が築けていると思います。	○	家族によっては、職員が顔を見た事の無い家族の方もいると思います。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様、ご家族様、職員、とても良い関係が出来ています。	○	もっと、ご家族様には積極的に行事に参加していただきたいと思っています。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会も問題はありませんが、手紙や電話も活用できますので大丈夫だと思います。以前より利用していた喫茶店などにも定期的に利用しています。	○	地域密着ではありますが、そんなに地元の利用者様が少ないので散歩でなじみの場所まで行けないかも。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	会話をつなぐ努力はしていますが、個性が強い方が多いので中々上手くいってません。	○	皆様、基本的には仲がよしいのですが、時々、話がすれ違い熱くなってしまう時もあります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	施設で看取りをさせていただいたご家族様には時々遊びにも来ていただけてます。	○	逆に他の施設へ移られた利用者さまは、家族からの連絡が来る事はめったにありません。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
いて				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の馴染みの物を部屋に置いていただいたり、希望に応じた家具を入れていただいたりして、ご本人様やご家族様の意向に沿うようにしています。	○	小物やTV, 最近では冷蔵庫を希望で設置された利用者様もみえます。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	介護をさせて頂く上では利用者様の生活歴などは出来るだけ把握して介助するようにしています。	○	職員の皆さんが読めるように情報は提供しています。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護職員、看護師、ケアマネージャーといろいろな視点から利用者様の状態を把握するように努めています。	○	毎日の積み重ねで週に1回のケア会議で報告や検討を行い利用者様の状態に合った支援を心がけています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	最善な介護計画の作成のために、日頃からいろいろな情報の収集を行っています。	○	ご家族様以外にも介護、看護といろいろな視点からの意見も取り込んでご家族様の納得のプランをたてています。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは毎日の評価でチェックして週1回のケア会議で見直しをして、より良いプランに変更しています。	○	プランの変更はもちろんの事、家族にも必ず報告をしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の日々の生活の記録は個別に管理しています。	○	変わった事などは申し送りで報告を入れ介護計画の見直しの材料ともなっています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	今までご家族様からの要望で短期入所で利用していただいた事もあります。	○	空き部屋の状況にもよります。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員さんは運営推進委員会のおかげで仲良くさせていただいているとおもいます。地域のイベントにも、参加可能な利用者様は参加されています。	○	あまり、本人様の意向としては意見が出ていないと思います。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	話をする事はある。訪問リハなど。	○	ですが、そのサービスが金銭面の問題で断念する事が多いです。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	大体に利用者様が長期の利用になる事がほとんどですが権利擁護と言われても、具体的にどのような内容かが解らない。	×	地域包括支援センターさんとも綿密にお付き合いしています。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かなり充実しています。	○	医師とご家族様と施設とが、スムーズに情報伝達ができています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけの病院には検査機材が充実しているのと、医師も専門的な方がみえられる為、安心です。	○	しかし、病院は搬送して時間がかかる事が難点です。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	まずは看護職員が毎日、出勤していますので病院との連絡はよく出来ています。	○	細かい事から病院と連絡を取り合い、医療面の充実をしています。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	看護職員が入院時に付添、正確な情報を入手して、できるだけ早い退院にでも対応できるように取り組んでいます。	○	利用者様が入院中でも面会に行きながら状態報告を聞いたりして積極的に病院との連絡をとっています。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアは他のグループホームにも負けないくらい力を入れている分野です。また、医師やご家族ともしっかりと方針を話し合っています。	○	最近では施設で看取る事が多いと感じています。ご家族様と頻りに連絡を取り、立ち会えるように努力はしています。機材の方も充実しています。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族様や医師と、施設内でできる範囲の説明や協力内容をしっかりと話し合い出来ています。	○	訪問看護も利用して医療面には特に万全な状態で取り組んでいます。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	この事は、ご家族様によってケースが違います。	○	基本「その時」は、ご本人様同意してみえるのですが、同意を忘れられ帰宅願望が強くなられる利用者様もおみえになります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者様によって言葉かけの内容等は違いますが、基本的には相手を敬いながら行動をしていると思います。</p>	<p>○</p> <p>この事についても利用者様一人一人違う為、きちんとした対応をしていると思います。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>介護の基本は自己決定ですので意思表示のできる事には利用者様に決めていただき介助の方をさせていただいています。</p>	<p>○</p> <p>こちらから決めて説明するのではなく、利用者様に選択していただく状況で話しえを進めていく。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>必ずしも基本は利用者様が中心ですが、逆に利用者様が気を使い職員に合わせてみえられる事もあるように思います。</p>	<p>○</p> <p>外出など利用者様の希望に沿える範囲で優先して職員の方は行動しています。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>理容や美容の方はお店に行く事もありますが、職員の知り合いの方が施設に来られ行っただく事もあります。その人らしいかはご本人様次第です。</p>	<p>○</p> <p>移動の困難な利用者様は訪問美容に決まっていますが、2ヶ月おきに綺麗にさせていただいています。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の方は楽しんでいただいています。職員と利用者様と一緒に食事をするのは色々問題があり難しいです。</p>	<p>×</p> <p>職員はお弁当の方がほとんどで、お金を払ってまで利用者様と同じ食事は嫌だと言う意見が多く、お弁当を食べると今度は利用者様がうらやましがられることがある。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>飲み物や食べ物については制限の無い利用者様は自由ですが煙草やお酒は健康上の理由としてやめていただいています。</p>	<p>○</p> <p>最近では煙草が大変危険という事で、室内禁煙になりました。飲食については自由です。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	オムツを使用されてみえる利用者様が多いです。	×	排泄のパターンは結構把握してはいるが、オムツを外せないのが現状です。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ほとんどの利用者様が職員の介助がないと入浴できないので、利用者様から変わったタイミングでの入浴希望はでていますが、必要に応じて、どんな時間帯でも対応する気持ちでいます。	×	今の現状、職員の職員の判断が大きい気がします。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	寝たい時間に寝ていただき、起きたい時間に起きていただいています。	○	体調が悪い時に無理されそうな場合は嫌々でも休んで頂く事はあります。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	レクリエーションや利用者様の得意な作業には前向きに取り組んでもらっていますが、マンネリ化しないかが心配です。本当に笑顔で楽しんでいらしゃるのはイベントだけだと感じます。	○	音楽療法が月に2回、フラワーセラピーが月に1回、定期的な季節のイベントなどにも積極的に体力的に無理のないように取り組んでいると思います。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様によってはご自分で少しですがお金の管理をしていただき、必要時にはそこからお金を払われる事もあります。	○	大きい買物は基本的にご家族様が購入されて持ってきていただくか、了解をいただき施設側で購入する事になっています。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お散歩には希望があれば頻繁に行っていますが、車を利用してのイベントや遠出は計画を立ててからしか行けていません。	○	木曾三川公園やなばなの里には計画をたて、散歩で行ける所には天気や利用者様の体調が良ければ希望が出た時に行く事になっています。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠出など車等を使用する事には計画をたてて実施しています。	○	遠出でなどは計画をたてて実施しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由ですし、携帯電話を持たれてみえる利用者様もおみえになられます。また、手紙も自由ですのでポストへ行けない利用者様の場合は職員が出しに行きます。	○	基本的には自由ですが、明らかに内容が現実と離れている時は話題を変える時もあります。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	常識的な時間であれば何時でも訪問は問題ありません。	○	ほとんどの方々は常識内に訪問していただいているのでたすかっています。飲み物やお茶菓子を進めたりして利用者様と楽しんでみえられます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいます。身体的にケガをさせない為にもどうしても必要な時にはご家族様より了承をいただいています。	○	ベッド柵の数等にも気をつけています。安全が第一ですけど。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間からの鍵の開け忘れや、どうしても鍵が必要な時以外は開錠されてます。居室に鍵はないです。	○	現在、自宅でも日中に鍵をかけている事が多いですが、玄関の鍵に固執する意味があまり理解が出来ませんが、普段は開けてあります。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	よほどの事が無い限りは把握しています。時々、知らない間に外出してみえる事があります。基本的に外出には同行しています。	○	室内ですぐに目に付く職員が多いから安心ですが知らない間の外出の時は冷やりとする事があります。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミ等の事ですか？生活に必要なもので無くす事はできません。必要でなく危険な物は無くなると思います。	○	基本的に重要な場所には職員が居て、目が届くようにしています。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員は一通りの知識は持っています。対応についての文章化にして持っています。	○	事故防止は勿論の事ですが、事故になってしまった時の対応も的確に行えるように資料を配布してます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	資料の方の配布は全職員にしていますが、訓練の勉強会や研修会には参加できる限りしてもらっていますが、訓練には全員参加は難しいと思います。	×	かかりつけの病院の理学療法士さんに定期的に勉強会を行っていただいています。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	訓練は行っていますが、実際の災害時にどれだけ冷静に行動できるのかは解りませんが、地域の方の協力は得られる事になってはいます。	○	連宮推進会議の時に区長様に援助に地域の方も駆けつけていただけるようにお話して下さるようになっていまして。地域の皆様とも仲良く生活させていただいてますので大丈夫だと思います。まずが実際問題災害時は我が身だとも思います。まずは職員が頑張っていきます。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ケアマネージャーや看護師を通して転倒のリスク等をはじめ、しっかりと説明をされています。	○	日頃からの状態観察でいち早く危険を見つけ、その対応は勿論ですがご家族にも報告を入れています。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ご家族様や病院とも細かく連帯をしています。	○	気が付いた事は必ず誰かに確認をしている。自分だけの思い過ぎはしないようにしています。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	どんな薬でも変更があるたびに申し送りをしています。	○	基礎知識レベルでしか把握していないと思うので、新しい薬については調べてからしか申し送れない。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	牛乳を中心に活用しています。	○	おやつ時に便秘気味の利用者様で牛乳が飲める方は牛乳や乳製品を摂取していただいています。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	洗面所で口腔ケアのできる利用者様は毎食後、自ら行っていただくように誘導しています。全介助の利用者様の場合はスタッフが毎日、口腔ケアをするように心掛けをしています。	○	口腔ケアは歯科衛生士が中心に取り組んでいます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	材料を仕入れる時には栄養バランスに注意しています。利用者様一人一人の摂取して良い量や水分量の把握や管理もしています。そして食事摂取の際の状態など利用者様ごとに取り組んでいます。	○	食事や水分量は毎日、表にて記入して管理をしています。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは予防接種を、タオルについては使い捨ての紙タオルに切り替えて感染対策をしています。	○	嘔吐時の対応も全職員マニュアルを渡していますので把握してもらっていると思います。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	3日に一度はまな板等は消毒して、食器は乾燥機で乾燥させてます。	○	菌が繁殖しにくい環境をつくるように日頃から取り組んでいます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	スロープは設置してあります、車椅子もスムーズに通れますが、特別に工夫がしてあるかと言われると無いかもしれません。	×	建物周辺の工夫としては、ご家族様より頂いたお花等を植えています。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音等は無いですが、夏場になると、すごく暑い時がありエアコンを一日中つけていても、日中はどうしようもなく暑いです。	×	屋根に水をまく設備の設置を検討中です。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	間仕切り等が無いので共同空間ではあまり独りになれてはいないです。	×	イスの配置で気の合った仲間同士での会話は成り立っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様のなじみの物を部屋に置いたりして、小さいですが十分に生活はされてみえると思います。	○	部屋の家具の配置等、希望に近い形にしています。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	においては利用者様手の届かない位置に消臭剤を置いたり換気で大丈夫ですが、室温はバランスが悪いです。冬場は快適な方ですが夏の暑いのが大変です。しかし、利用者様の状態に合わせて室温管理には努めています。	○	換気には気を使っています。エアコンの方の必要な時にすぐに使用しています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	もちろん手すりや階段が無いのはクリアーしてありますが扉の出入り口の幅が狭い事や洗面所の出入り口が狭い事が問題だと思えます。	×	ハード面は改善が難し為、職員が気配りをしてカバーしています。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱や失敗は出来るだけ早く未然に防ぐように職員は気配りをしています。	○	しかし、なかなか自立で済む利用者様が少ないのが現状であります。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物正面の駐車場のスペースでの天気の良い日のおやつやの時間やバーベキューを職員と一緒にしています。	○	施設裏側には畑がありますので、利用者様と収穫等をしたいです。

サービスの実績に関する項目

項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

私ども施設では看取りを前提で入居なさる利用者様が多く、医療面にも重度の利用者様が多いので医療面が特に充実していると思います。